



JCLIFE

2026年
9月号



一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
TEL:0848-20-1110 FAX:0848-20-1112 E-mail:ojc@urban.ne.jp Facebook: <http://www.facebook.com/isojcnw>

8月例会 定時総会

8月23日(日)、神石高原ティ
アガルテンにて8月例会・定時総
会が開催されました。

総会では、第1号議案において
2027年度理事長予定者に加藤
雅崇君が選出され、全員の賛成を
もって承認可決されました。

第2号議案において2027年
度監事数及び理事数が上程され、
続く第3号議案において2027
年度監事予定者に安保大輔君及び
吉田嵩正君が推薦され、全員の賛
成をもって承認可決されました。

続いて行われた理事選挙では、
厳正なる開票の結果、理事予定者
19名が選出されました。

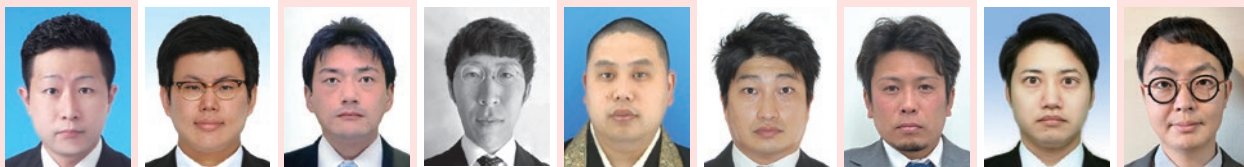
次年度監事・理事の皆様、誠に
おめでとうございます。

(記事:総務広報委員会 委員長 徳岡万里)

2027年度理事(19名)



寺本 (新任) 圭吾 君	塚本 (重任) 善昭 君	高橋 (新任) 佳裕 君	高垣 (新任) 悟 君	亀山 (新任) 翔太 君	狩野 (重任) 聡汰 君	笠井健太郎 君 (新任)	梅本 (新任) 佳克 君	今城 (重任) 佑基 君	加藤 (理事長) 雅崇 君
--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	--------------------	--------------------	-----------------	--------------------	--------------------	---------------------



向井 (重任) 豪佑 君	宮永 (新任) 祐吾 君	坊農 (新任) 和幸 君	別府 (新任) 拓也 君	福森 (重任) 慈大 君	福本 (新任) 真也 君	原田 (重任) 寛 君	濱本 (新任) 義武 君	土井 (新任) 雅俊 君
--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	--------------------	--------------------

2027年度監事 (2名)



安保 大輔 君



吉田 嵩正 君

(50音順)



夏期講習



8月22日から23日にかけて、神石高原ティアガルテンにて、夏期講習「BISTRO ONOMICHI ～想いを交わし、仲間と創る～」を開催しました。

青年会議所には、年齢や職業、経験も違う、さまざまなメンバーが集まっています。普段の活動の中では、相手がどんなことを大切にしているのか、どんな考えを持っているのかを深く知る機会は意外と多くありません。だからこそ自分の考えやこだわりをしっかりと伝え、相手の考えも聞きながら、仲間と一緒に一つのものを創り上げることをテーマに夏期講習を行いました。

当日はチームに分かれ、「価値観共有カード」を通して、自分が大切にしている価値観やその理由を話し、その後、「エッグドロップチャレンジ」や「ブラインドローワーク」など、チームで相談し、声を掛け合わなければクリアできないプログラムに取り組んでいただきました。

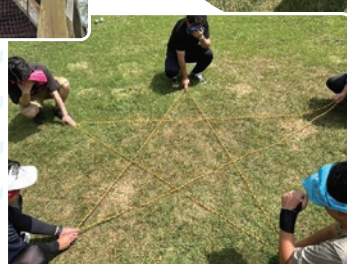
最後は、それぞれのチャレンジで獲得した予算や調理器具を使って、チーム対抗料理対決「BISTRO ONOMICHI」を行いました。何を作るのか、誰が何をするのかなど、チームごとに意見を出し合いながら、限られた時間の中でこだわりの一品を作ってもらいました。

プログラム終了後の「居酒屋の青春」も大いに盛り上がり、普段なかなか話す機会のないメンバー同士で交流する姿が多く見られ、楽しい時間を過ごすことができました。

今回の夏期講習を通して、仲間の今まで知らなかった一面を知ったり、自分の考えやこだわりを表に出すきっかけ作りになったのではないかと思います。今回得たつながりや気づきが、これからの活動の中で活かされ、メンバーが互いに遠慮せず意見を出し合い、より良い事業を一緒につくっていただける関係につながればと思います。

夏期講習にご参加いただきましたメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

(記事：会員能力向上委員会 委員長 徳永 雅之)



尾道絵のまち通り商店街に防災アクションが出現！

**5つのミッションに挑戦して
防災マスターになろう！**

**絵のまち
防災ストリート**

**5つのミッションをクリアすると
抽選会＆縁日へ！**

抽選会景品例（ミッションクリアでもらえる抽選）
1等：子ども用防災セット／2等：モバイルバッテリー／
3等：懐中電灯（携帯充電機能付き）／ほかにも景品あり！

その他の体験プログラム

- わが家の防災会議
防災ワークショップ
- 炊き出し料理・防災食展示
（協賛：イオンスタイル尾道）
- 災害VR体験
（協力：尾道市消防局）
- 防災相談ブース
（協力：アース・トランスチャー株式会社）

**未来の防災グッズ
コンテスト**

作品募集中！

「こんな防災グッズがあったらいいな」を絵とアイデアで自由に描こう！
優秀作品には防災グッズや地域の商品をプレゼント！

事前応募は
9/18まで
当日応募OK
（15時まで）

小学生部門
一般部門

会場 | 絵のまち通り商店街
受付 | 商店街出入口2ヶ所 尾道郵便局側
長江口側

お知らせや
詳しい内容は
コチラ！

イベント公式サイト

協賛 JCI 一般社団法人尾道青年会議所 尾道市 一般社団法人尾道観光協会 尾道市立商店街振興組合 尾道市立大学デザインセンター 尾道市立図書館 フォース・トランスチャー株式会社 尾道市 防災工芸館 尾道市立大学

協賛 イオンスタイル尾道 株式会社大創産業 伊藤 食品株式会社

一般社団法人尾道青年会議所（尾道・つやま）
MAIL: gpf@nagai.or.jp
TEL: 0848-25-1111（受付9:00～19:00）

9月27日（日）、絵のまち商店街にて「絵のまち防災ストリート ～商店街で楽しく学ぶ、いつもの備え～」を開催します。

近年、地震、豪雨、台風等の自然災害が全国各地で頻発していますが、家庭における備蓄品の準備や、避難場所、災害時の連絡方法等について、具体的な備えや家族間での話し合いが十分に行われているとは言えず、また子どもたちが防災について学ぶ機会はあるものの、自分や家族の生活に置き換えて考える機会は限られています。絵のまち通り商店街を舞台に、子どもたちが保護者の皆さまとともに各所を巡り、楽しみながら防災を学ぶ周遊型体験事業を実施します！子どもたちが主体となって家族や地域の人と協力する体験を通じて防災を学ぶだけでなく必要な備えを考え、行動につなげる機会を提供します！

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

子どもが主役のまち

ミニ・ミュンヘン in ONOMICHI

子どもの想いが、まちになる。

11月7日
土曜日
尾道市民センター
むかいしまこころ

アイデアで
まちをもっと
楽しく!

自然や花が
いっぱいの
まちにしたいな

みんなが安心して
暮らせるまちに
しよう!

おいしい笑顔が
あふれるまちって
いいよね!

きみの「やってみたい!」から、 このまちをつくろう。

ミニ・ミュンヘン in ONOMICHI

まちづくりの中心メンバー、大ぼしゅう!

開催概要

活動期間	2026年9月19日(土)～11月7日(土)
オリエンテーション+まちづくり子ども会議(全4回)+本番	
本番	11月7日(土) 10:00～15:00
会場	尾道市役所ほか(本番:尾道市民センターむかいしまこころ)
対象	小学4年生～中学3年生
定員	30～40名程度
参加費	無料
主催	一般社団法人 尾道青年会議所

「ミニ・ミュンヘン」って、なんだろう?

ドイツ・ミュンヘンで生まれた、子どもたちだけで運営する「小さなまち」。
まちの中で使うのは日本のお金ではなく、このまちだけの通貨です。
遊ぶためのお金は、自分がまちで働いてかせぎます。

ドイツ生まれの本格派

40年以上続く「子どもが
つくるまち」が、尾道に
やってくる!

使うのは「まちのお金」

働いてお給料をもらい、
そのお金で買い物や遊びを
楽しむ。

経済の流れをまるごと体験

働く→かせぐ→使う→税金。
お金のめぐりを遊びながら
学べる。

そして今、このまちをゼロからつくる「まちづくりメンバー」を募集しています!

**ワークショップ
参加者
募集中!**

応募方法 QRコードの申込フォームから ※保護者の同意が必要

申込締切 2026年9月15日(月)

お問い合わせ 未来創造委員会 委員長 福森慈大 TEL 080-1914-5101

まちができるまでの流れ・スケジュール ゴールは11/7の本番!

9/19(土) 10:00～11:30	尾道役所	オリエンテーション ミニ・ミュンヘンってどんなまち? まずは全体像を知ろう	※保護者説明会 14:00～15:30
9/26(土) 10:00～12:30	尾道市役所	子ども会議① どんなまちにしたい? やりたいことを出し合って話し合う	
10/11(日) 10:00～12:30	尾道市役所	子ども会議② まちに必要なお店や仕事を決めて、チームで準備スタート	
10/18(日) 10:00～12:30	尾道市役所	子ども会議③ 看板や商品をつくって、役割を分担。本番まであと少し!	
10/25(日) 10:00～12:30	旧尾道商工会議所 2階議事場	子ども会議④・子ども市長選挙 まちのリーダーを選挙で決めて、最終準備!	
11/7(土) 10:00～15:00	尾道市民センター むかいしまこころ	本番! まちを運営する日 働いて、かせいで、買い物して……まちが動き出す!	

※日程・時間・内容は変更になる場合があります

参加にあたって(必ずご確認ください)
オリエンテーションに必ず参加し、オリエンテーションを含む事前プログラムに3回以上参加のうえ、
本番当日にもご参加いただける方を募集します。

JCI ONOMICHI

主催: 一般社団法人尾道青年会議所

後援: 尾道市教育委員会

一般社団法人尾道青年会議所
総務: 未来創造委員会委員長 福森 慈大
TEL. 080-1914-5101

11月7日(土)、「子どもが主役のまち ミニ・ミュンヘン in ONOMICHI」を開催します。地域社会の一員として子供たちにまちづくりへ参画してもらい、自ら考えて行動し想いを形にする体験を通じて地域と関わる経験を得ながら、社会や経済の仕組みを実感し学ぶことのできる事業となります!

本事業実施に向け9月19日(土)よりオリエンテーション、保護者説明会を実施し26日(土)には第1回まちづくり子ども会議を開催します。多くのお子様方、保護者のご参加をお待ちしております!

卒業生スピーチ



宮本 豪

皆さん、こんばんは。地域交流委員会の宮本です。

私は昨年入会したばかりで、もう卒業生スピーチのこの場に立っているのが場違いな感じがして気恥ずかしいのですが、なんとかスピーチを頑張りたいと思います。

J.C.でのエピソードトークは2年分しかないのですが、15分間スピーチするに当たって何から話そうかなと考えたんですけど、まずは私の最初のJ.C.との出会いについてから話していこうかなと思います。

私は大学を卒業してから北海道で5年働いていたんですけど、そのうち最後の4年は東北の街、稚内でも働いていました。稚内は冬になると雪合戦大会とか、夏は港の中でカヌーレースとかをやっていました。私は職場の若手を集めて、そのイベントに参加して稚内を満喫していました。後から知ったことなのですが、実はそれらのイベント開催にJ.C.が関わっていて、知らず知らずのうちにJ.C.にはお世話になっていたということが私の最初のJ.C.との出会いだったと記憶しています。

ただ、地元をよく知る同僚に「J.C.ってどんな人たちなんですか」と聞いてみたら、「いや、あの人は飲み会で騒いでいるだけの人たちだよ」という評価でした。私もどこで知った情報かは忘れましたが、J.C.というのは若手の経営者の集まりで、飲み会で乱痴気騒ぎをして問題になったことがあるという情報を知っていて、J.C.ってあまり関わらないほうがいい団体なのかなという印象がありました。

時が過ぎて広島に戻ってきました、ひょんなことから狩野君に出会って、声をかけていただきました。狩野君と加藤雄大君が一緒に仮入会の話に来てくれたのですが、そのときに正直に「あまり

印象は良くないです」という話をさせてもらいました。そのときは確か、「昔はそうだったかもしれないけど、今の尾道J.C.はそんなことはないの大丈夫です」という回答だったように記憶をしています。

J.C.とはあまり関わらない方がいいと批判することは簡単だと思うんですけど、自分が経験していないことだったり、実態を知らないことについて軽々しく批判をしたくないという思いもありました。なので、J.C.がどういう活動をしているのかを見てみたいという理由もありましたし、あとは、「2年で卒業するんだったら、委員長とか大変なこととはしなくても卒業できますよ」という甘い口車に乗せられて入会することにしました。

そして昨年は、小田委員長、沼尾副委員長のもと、総務広報委員会や幹事をやらせていただきました。本事業や卒業例会などで年末はバタバタして大変だったんですけど、メンバーはみんな穏やかな人たちがばかりで、1年間、和やかに過ごさせてもらえました。

総務広報委員会は毎月、J.C.ライブをOBや関係者に発送するために、メンバーが集まって封筒にJ.C.ライブを入れる作業をしているんですけど、J.C.ライブをメールなどで送れるように改善したいなと思いついて1年間やっていたのですが、ついに改善できず残念でした。

幹事は同期の岩崎君で、昨年はなかなか参加できなくて「もうちょっと幹事を頑張ってくれよ」と思いつつながら私はやっていたんですけど、お互い個人事業で忙しいのも分かっていたんですけど、岩崎君は若くてまだあとが長いので、2年で卒業する私がカバーしなきゃなという思いで幹事をやっていました。

委員長の小田さんや沼尾さんも、裏ではいろいろ迷っていたりしていたんだと思いますが、それを表には見せずに、しっかりとメンバーを引っ張っていかれました。そのため、幹事として本当に力になれているのかなという気が1年間ずっとありました。あと、反省というか後悔というかあるんですけど、それは卒業予定者だった石岡さんの

ことです。石岡さんがSNSにとっても詳しいということで、卒業予定者なのにもかかわらず、馬車馬のように写真撮影やSNS発信をしてもらったことなんです。もう少し何とかならなかったのかなという思いで、心に残っています。

昨年は初めて経験することも多くて戸惑うこともありましたが、メンバーに助けられて楽しい1年を過ごすことができました。

今年度は今城委員長、高橋副委員長のもと、地域交流委員会で活動させてもらっています。正直なところ、前年とはガラッとメンバーが変わって、ノリについていけないという不安はあったんですけど、委員会の活動が始まったら当初の心配をよそに、とても楽しく活動させてもらっています。

委員長はやりたいことが決まっていたのもおそれないので、どんどん引張っていつてもらっていて、気づけばあとは10月の本事業を残すところまで来てしまいました。卒業の年ですけど、苦労することなく終わらそうだなという気もしています。今年度の残りは本事業をしっかりと成功させて、卒業旅行を楽しみたいなと思っています。

幹事の3人はとても出席率が高く、前年の私の幹事と比べるととても優秀です。特に美濃田君は、私と同じで2年で卒業というルートなので、多分来年は私のスピーチとは比較にならないくらい素晴らしいスピーチをしてくれると期待しています。

もうエピソードも尽きてしまったんですけど、昨年の夏期講習の3分間スピーチでも話したことをもう一度話したいと思っています。昨年7月、夜の12時過ぎぐらいまで事務所仕事をしていました。窓の外から変な音がするので窓を開けてみたら、隣の家が火事で燃えていて、第1発見者になつてしまいました。隣の家には高齢のご夫婦が住まれているので、奥さんのほうは逃げ遅れて、残念ながら亡くなってしまいました。

常々、人生はいつ終わるか分からないとは思っているんですけど、それを痛感するような出来事でした。

人生はいつ終わるか分からない。だからといって、「毎日、一生懸命生きましょう」という気は全然

ないです。毎日毎日走り続ける、ゴールがなく走り続けるというのは、すごく大変なことだと思っています。いつまで走り続けられればいいのかと思うことは絶望に近いと思います。

ただ、J.C.は40歳で卒業という大きなゴールが決まっています。事業も1年単位になつていて、メンバーもガラッと変わっていくことで、小さいゴール・目標を決めながら走ることができ、いい環境なんじゃないかなと思います。「今年だけは何か頑張ってみよう」とか、「この事業までは無理をしても参加してみよう」とか、そういう小さなゴールを決めて頑張れる場だなと、2年間やって感じました。私も2年というゴールがあったからこそ、ここまで来られたんじゃないかなと思っています。なかなか参加が難しい方もいらっしゃると思いますが、小さなゴールを設定して参加してみたいだけだと思います。

私はいつも仕事では一人でパソコンに向かって、一日誰ともしゃべることなく終わる日もあります。そんな中、J.C.の活動に参加して人と会うということがいい刺激にもなりました。尾道に住んで尾道のために働いている人を間近で見、自分のモチベーションにもなりました。また、もともと公務員の職場しか経験してこなかったのに、知らない業界の人たちといろいろ会って話をするのができました。J.C.での2年間、とても有意義に過ごせたと思います。

私がJ.C.に入ろうと思った理由のひとつに、J.C.がどういう活動をしているのかを見てみたいというのがあったんですけど、この2年間J.C.の活動を見てきて、ほかのLOMはどうか分からないんですけど、尾道J.C.は真面目に事業にも取り組んでいるし、乱痴気騒ぎをするようなこともありませんでした。卒業後も応援していきたい、推していきたい団体だなということがとてもよく分かりました。2年で辞めてしまおう私が言うのもあれなんですけど、これからは皆さん活動を頑張ってください。陰ながら、OBとして応援したいと思います。

以上で私のスピーチは終わりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



皆さん、こんばんは。
今日は、このような場で
お話しする機会をいただ
き、ありがとうございます。
す。

私は尾道青年会議所に入会して、3年間活
動してきました。

こうして卒業を迎えると、長かったような、
短かったような、不思議な気持ちがいま
す。

入会した頃は、青年会議所がどんなところ
なのか、どんな活動をするのか、そして私自身
がどう関わっていくのか、分からないことはかり
でした。

そんな中で、始まった3年間でしたが、振り
返ってみると、いろいろな経験をさせてもらい、
たくさんの人と出会うことができた3年間
だったと思います。

まず、1年目は、幹事として広報啓発委員
会に所属しました。

入会してすぐの頃だったので、委員会の中で
幹事が何をするのか、活動をどう進めていくの
かも、よく分かっていませんでした。

分からないことが多い中でも、委員会の皆
さんにその都度教えてもらい、同じ幹事のメン
バーが情報を共有してくれたことで、少しずつ
自分の役割が分かるようになっていきました。

その中で、委員会の勉強会での司会を任せ
てもらうことになりました。

私はもともと人前で話すことが苦手で、最
初はかなり緊張して、ちゃんと進行できるの
か、と不安に思っていたことを覚えています。

それでも、事前に準備をしてもらい、教えて
いただいたおかげで、本番を無事に終えること
ができました。

その経験を重ねる中で、少しずつ人前に立つ
ことにも慣れていったと思います。

また、広報活動の一環としてInstagramを開
設し、地元の高校生と交流したりしました。

普段の生活ではなかなか経験することがな
く、JCに入っていないかったら、きっと経験してい
なかつたことをたくさん経験することができ
ました。

1年目は、分からないことばかりでしたが、
周りの皆さんに教えてもらいながら、少しずつ
JCというものを知っていった1年だったと思
います。

2年目は、未来の宝育成委員会に所属しま
した。

この年は、家族会での平田観光農園でのいち
ご狩りなどに関わりました。

普段の活動とは違って、メンバー同士だけ
なく、家族も一緒に楽しめる場をつくるという
経験は、とても印象に残っています。

家族会では、たくさんの方がかわり、当日
だけではなく、たくさんの方の準備や調整が必要
で、二つの事業をつくりあげるの大変さと
同時に、委員会の皆さんがそれぞれの役割を
持っている姿を見て、すごいなと感じました。

ただ、2年目は家業との両立が難しく、委員
会や例会に思うように参加できない時期もあ
り、参加したいと思っても参加できないこ
とが、申し訳ないと思うこともありました。

それでも久しぶりに委員会や例会に参加し
た時には、メンバーのみなさんが変わらず声
をかけてくれて、参加できてない期間があつたに
もかわらず、自然にメンバーの一員として迎え
入れてくれたことが、本当にありがたかつたで
す。

この経験を通して、JCの活動は、一人で頑
張るものではなく、周りの人に支えてもらいな
がら成り立っているものなんだと感じました。

この3年間を振り返ると、家業との両立が
難しく、思うように出席できなかったこともあ
りました。

でも、私が参加できない時にも、活動を進め
てくれている人がいて、参加できた時には変わ
らず迎えてくれる人がいました。

だからこそ、参加できた時には、その時間を
大切に、限られた時間でも、自分にできるこ
とをする。それを意識できるようになったと思
います。

そして、この3年間を続けてこられた理由の
一つに、同期の存在があります。

仮入会を経験して、家業との両立が私には
難しいと思い、入会を辞退しようとしたことが
ありました。

仮入会の研修でのグルメサミットに出店す
るといふのがあり、辞退を考えて、あまり参加
できてなかった私に同期のみなさんが、「たむ姉」
と呼んで気軽に声をかけてくれたり、同期会
を開いて、私の子ども達とも遊んでくれたり
して、私が参加しやすい環境を作ってくれまし
た。

そこで少し気持ちがかわって、「もう少し頑
張ってみようかな」と思うことができました。

今思えば、あの時みんなが声をかけてくれ
たことが、私がJCを続けるきっかけになつた
んだと思います。

その後も、同期のみんなにはいろいろな場面
で支えてもらいました。

みんなは、仕事や家庭がある中でも、JCの
活動に真剣に取り組んでいて、忙しい中でも活
動を続ける姿や、周りを気にかける姿、責任を
持つて役割を果たす姿を見て、私もたくさん
のことを学んだと思います。

みんなが頑張っている姿を見ると、私も
できることは協力して、頑張っていこうと思
うことができました。

例会や委員会でも久しぶりに会ったときにも、
いつも気軽に声をかけてくれたり、分からない
ことがあると教えてくれました。

私が3年間JCを続けてこれたのは、同期の
みんながいてくれたからだと思っています。

3年間一緒に活動してきた中で、同期のみな
さんの姿を見てきて、年齢は一番上でも、学ぶこ
とは本当にたくさんあり、同期のみんなを尊敬
しています。

同期の中では私が一番最初に卒業すること
になりますが、これからもみんなとは変わらず
付き合っていけたら嬉しいなと思っています。

また、このJC生活で、同期だけではな
く、たくさんの人と出会うことができ、普段なら
関わることのなかつた人たちと、同じ地域で活
動する中で、いろいろな考え方に触れることが
できました。

その経験を通して、人との関わり方について
考える機会も増えたように思います。

その二つが、自分にとって大切な経験にな
ったと思います。

思うように活動に参加できなかった時もあり
ましたが、ここまで続けてこられたのは、周
りの皆さんに支えていただいたからだと思つて
います。

まずは卒業までの残り4か月、総務広報委
員会の一員として、できる限り活動に参加し、
自分にできることをしていきたいと思っています。

これまで関わってくださった先輩方、現役の
皆さん、そして同期のみんなに、心から感謝し
ています。

卒業後も、JCで学んだことや、出会った皆
さんとのつながりを大切にしながら、家業や地
域での生活を続けていきたいと思っています。

3年間、本当にありがとうございました。